

第8回ふくおかエコ農産物認証委員会 議事録

1 日時 平成30年3月15日(木) 14:00～15:45

2 場所 福岡県庁行政棟 特33会議室

3 出席者

認証委員6名(高木委員長、畝岡副委員長、甲斐委員、野間口委員、富田委員、森委員)

認証委員会事務局5名(県庁農林水産部食の安全・地産地消課)

ふくおかエコ農産物販売拡大協議会事務局職員1名

4 内容

○ 議題

平成30年1月申請の認証について

① 認証申請状況及び技術審査会報告

- ・ 新規申請46件、更新申請170件及び年度計画提出323件。
- ・ 1月申請は水稻の計画の審査が中心であり、更新率も80%と件数が多くなっている。
- ・ 野菜では複数品目に取り組む新規申請も見受けられる。
- ・ 新規申請の中でなすの施設栽培がある。以前は認証に取り組むことが難しかったが、農薬代替技術の実証、普及により、今回申請に至っている。
- ・ 直売所出荷生産者への制度説明がきっかけで対象品目を追加、申請につながったこと等、地道な働きかけが功を奏していることを説明。
- ・ 申請内容の細かい技術面については、事前に開催した「技術審査会」で審査し、必要な修正を行ったうえで問題なしと判断した旨を報告した後、各申請の概要を説明
- ・ 委員からは以下の質問・意見が出されたが、認証委員会として、新規申請、更新申請いずれも認証可であると判断された。

②委員からの質問・意見

- ・ もち米部会で認証を継続されなかった理由として、取引先から認証農産物であることを求められなくなったとのことであったが、やはり、生産者にとって認証を取得するメリットを考えないといけない。

○ 報告事項

ふくおかエコ農産物販売拡大協議会の取組について

- ・ 事務局から、ふくおかエコ農産物販売拡大協議会の平成29年度の活動実績について説明。
- ・ 認証制度のPR、販売促進のため、10月末から11月にかけて県内各地の直売所やイベントでの試食・販売の実施や、生産者向け取組として、県内2か所でエコ農産物認証生産者交流会を実施したこと等を報告。
- ・ 委員からは、販売先のターゲットとして、エコ認証を付加価値として認めてくれるようなホテルのシェフなどに売り込んではどうかなどの意見が出された。

以上、議題終了後、閉会。